

## ◎平成27年度一般会計予算 41億9千2百万円

平成27年度の一般会計及び特別会計の予算は3月5日開会の定例村議会において、きめ細かい審議を経て3月13日原案どおり可決されました。  
一般会計の予算は、41億9千2百万円で前年度に比べ約2.5%の増額となりました。

### ○一般会計歳入

単位：千円

	款	本年度	前年度	比較	説明
1	村 税	557,873	543,976	13,897	村民税、固定資産税、軽自動車税、村たばこ税、入湯税。
2	地方譲与税	58,000	63,000	△ 5,000	地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税。
3	利子割交付金	500	500	0	預金利子等の所得に分離課税された県民税から一定割合が交付。
4	配当割交付金	300	300	0	特定配当等の額に分離課税された県民税から一定割合が交付。
5	株式等譲渡所得割交付金	100	100	0	特定株式等譲渡所得に分離課税された県民税から一定割合が交付。
6	地方消費税交付金	55,000	73,000	△ 18,000	消費税5%のうち、国4%・地方1%（県1/2、市町村1/2）。
7	自動車取得税交付金	15,000	15,000	0	自動車取得税の一定額が村道の延長と面積を基準に交付。
8	ゴルフ場利用税交付金	3,500	3,500	0	ゴルフ場利用税の7割が交付。
9	地方特例交付金	400	400	0	減収補てん特例交付金。
10	地方交付税	1,568,000	1,550,000	18,000	村の基準財政収入額と基準財政需要額の差を国が交付。歳入の4割弱。
11	交通安全対策特別交付金	1,400	1,500	△ 100	交通反則金を配分。道路交通安全施設整備に充当。
12	分担金及び負担金	15,638	18,186	△ 2,548	学校給食費負担金、各種検診個人負担金など。
13	使用料及び手数料	19,849	19,498	351	村営住宅や体育施設の使用料、公共物占用料、各種証明手数料など。
14	国庫支出金	425,275	308,722	116,553	障害者福祉サービス費等負担金、児童手当特例給付費負担金、社会資本整備総合交付金など。
15	県支出金	186,136	291,356	△ 105,220	障害福祉・児童福祉・社会福祉補助金、小規模土地改良補助金、国体施設整備費補助金など。
16	財産収入	11,887	19,300	△ 7,413	土地、建物の貸付料、基金の預金利子など。
17	寄附金	2,501	1,681	820	村民や各種団体からの一般寄附金及びふるさと納税寄付金。
18	繰入金	556,188	434,001	122,187	村の貯金（財政調整基金他）からの繰入れ。
19	繰越金	50,000	50,000	0	前年度決算後の余剰金。
20	諸収入	50,453	73,480	△ 23,027	預金利子、貸付金元利収入、花の駅事業収入及びスポーツ振興くじ助成金などの雑収入等。
21	村債	614,000	622,500	△ 8,500	過疎対策事業債、臨時財政対策債。
歳入合計		4,192,000	4,090,000	102,000	
歳入合計のうち自主財源		1,264,389	1,160,122	104,267	

○一般会計歳出

単位：千円

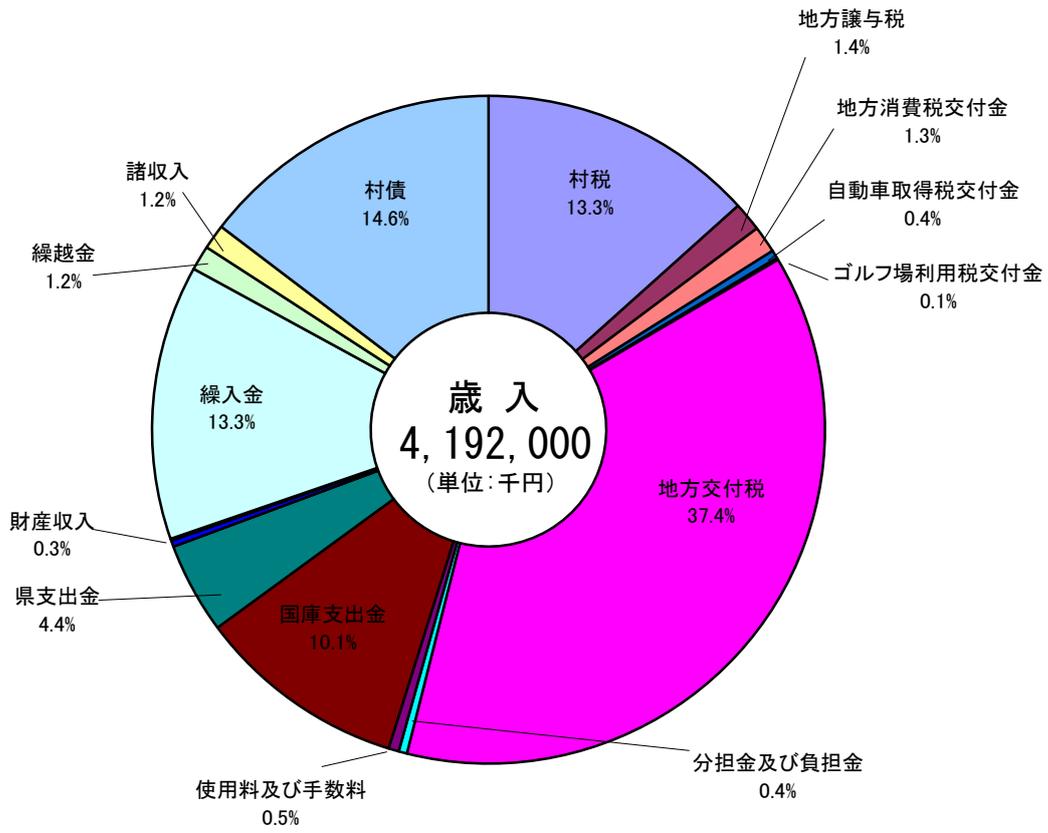
	款	本年度	前年度	比較	説明
1	議会費	76,061	71,227	4,834	村議会の活動に要する経費。
2	総務費	558,411	509,012	49,399	人事、企画、財政、情報政策、徴税、戸籍、選挙、交通安全など。
3	民生費	678,440	697,676	△ 19,236	障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、福祉医療、保育所など。国保・介護各会計への支出など。
4	衛生費	476,596	490,376	△ 13,780	総合検診、予防接種、環境衛生、健康管理センター、簡水・後期高齢各会計への支出など。
5	労働費	5,736	9,260	△ 3,524	緊急雇用創出事業、労働関係各団体への負担金・補助金の支出など。
6	農林水産業費	219,089	191,494	27,595	農業委員会、農業土木、農業・畜産振興、林業・水産業費など。
7	商工費	85,574	87,045	△ 1,471	商工業振興、観光振興。
8	土木費	333,322	532,415	△ 199,093	道路、橋梁、河川、除雪経費、下水道会計への支出など。
9	消防費	145,415	165,013	△ 19,598	広域消防への負担金、消防団経費など。
10	教育費	1,253,819	950,634	303,185	学校教育、生涯学習、スポーツ振興など。
11	災害復旧費	3	3	0	大雨、暴風、地震などの災害による被災施設の復旧費。
12	公債費	267,634	288,195	△ 20,561	村債の元金・利子、一時借入金の利子。
13	諸支出	89,900	95,650	△ 5,750	観光施設事業特別会計への補助。
14	予備費	2,000	2,000	0	予算外の支出または予算超過の支出に充てる経費。
歳出合計		4,192,000	4,090,000	102,000	

○特別会計予算

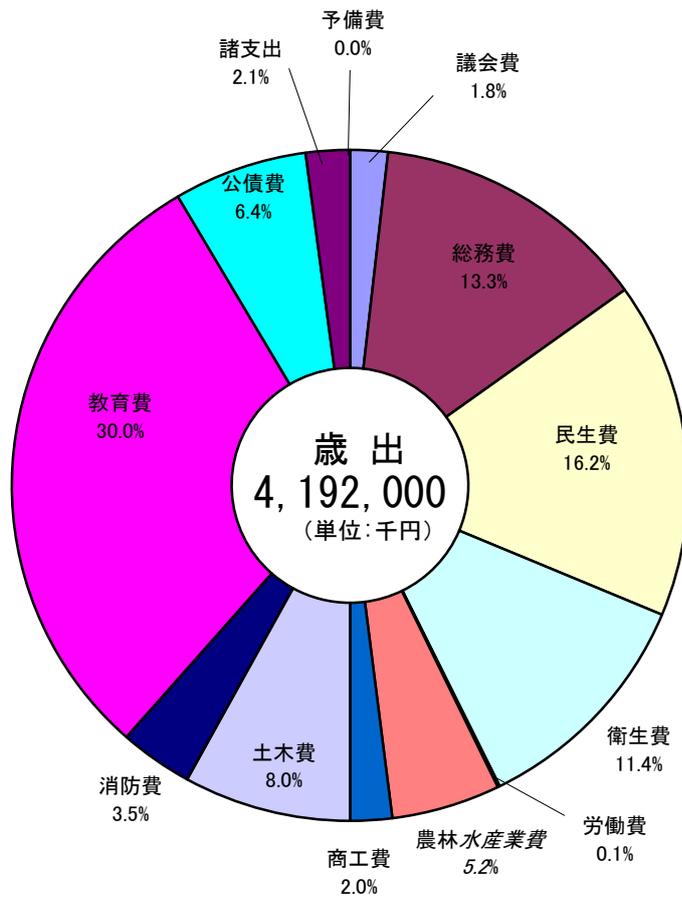
単位：千円

特別会計名	本年度	前年度	比較	説明
国民健康保険	921,470	848,826	72,644	社会保険、共済組合等の加入者以外の医療費給付事業。
簡易水道事業	82,200	87,800	△ 5,600	6つの簡易水道事業の管理運営。
観光施設事業	尾瀬ロッジ、オグナほたかスキー場、武尊牧場観光施設の経営管理。			
収益的収入	100,986	112,240	△ 11,254	経営による収益。他会計補助金。
収益的支出	100,901	111,235	△ 10,334	収益を上げるための経費。
資本的収入	0	10,000	△ 10,000	他会計補助金。
資本的支出	32,500	42,500	△ 10,000	企業債、長期借入償還金。
介護保険	526,915	507,054	19,861	介護予防、介護サービス事業。
下水道事業等	86,398	121,520	△ 35,122	農集排、特環公共下水道事業の管理運営。
後期高齢者医療	58,678	58,561	117	75歳以上（一定の障害等がある人は65歳以上）の者の医療費給付事業。

# 《 歳 入 》



# 《 歳 出 》



# 平成 27 年度当初予算の主要事業

◎は重点項目

1. ～自主・自立の村づくりのために～ （村民・行政）

◎まち・ひと・しごと創生関連事業を推進する。

○第4次片品村総合計画を策定する。

○村税徴収率向上対策としてコンビニ収納サービスの導入。

○住民基本台帳等、番号法に基づく個人番号の運用への対応。

2. ～誰もが安心して暮らせるために～ （保健・福祉）

◎低負担高福祉の継続。

○保育料の無料化及び11時間保育を実施し、子育て支援を図る。

○国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の3特別会計の適正な運営を実施し、医療・福祉の充実を推進する。

○乳幼児、母子（父子）、障害児者、高齢者、福祉のため、各種事業を推進する。

○身近で頻度の高い保健サービスを一元的に実施することで、効率的な予算運用を図り、住民が一次予防から三次予防まで自発的に行うための支援を充実する。（総合健診、乳幼児健診、不妊治療費補助制度、乳児から高齢者の予防接種等）

○保健・福祉・医療・介護の連携と予防事業の実施で、医療費や介護保険料・自立支援費の抑制をする。

3. ～豊かな心をはぐくむために～ （教育・文化）

◎小学校の円滑な完全統合の準備を整える。

○新片品小学校を計画通り竣工させる。

○片品中学校改築工事の設計をする。

4. ～快適で安全な生活のために～ （環境・安全）

◎生活道路網の保全整備と老朽化した橋梁の長寿命化対策を実施する。（細工屋橋整備他）

○快適な生活と美しい環境保全をつくる合併処理浄化槽を推進する。

○消防施設・機材の整備充実と防災体制の整備を推進する。

○交通安全対策・防犯対策の充実を図る。

5. ～資源を活かした活気ある村づくりのために～ （観光・産業）

◎第3次総合計画後期基本計画シンボルプロジェクトを推進し、若者等の雇用創造等を図る。

- 農業と観光の連携した6次産業化を含めた取り組みを推進する。
- 道の駅整備に向けて必要な調査を実施する。
- 地域おこし協力隊員制度を活用した取り組みを推進する。
- 有害鳥獣対策として防護柵の設置と電柵の貸与等を実施する。
- 近代化農業推進のためパイプハウス導入補助などの支援を実施する。
- ぐんま緑の県民税で森林整備を支援する。